

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年2月12日

【四半期会計期間】 第48期第3四半期(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

【会社名】 東海リース株式会社

【英訳名】 TOKAI LEASE CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 塚本博亮

【本店の所在の場所】 大阪市北区天神橋2丁目北2番6号

【電話番号】 06(6352)0001(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 大西泰史

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区天神橋2丁目北2番6号

【電話番号】 06(6352)0001(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 大西泰史

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
東海リース株式会社東京支店
(東京都港区虎ノ門5丁目1番5号)
東海リース株式会社千葉支店
(佐倉市大作2丁目2番2号)
東海リース株式会社横浜支店
(横浜市中区弁天通4丁目59番)
東海リース株式会社名古屋支店
(名古屋市中区栄3丁目32番20号)
東海リース株式会社神戸支店
(神戸市中央区下山手通6丁目1番4号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第3四半期 連結累計期間	第48期 第3四半期 連結累計期間	第47期
会計期間	自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	9,967,008	9,989,031	13,813,601
経常利益 (千円)	375,698	386,487	640,527
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	235,905	366,488	463,833
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	336,144	324,517	824,063
純資産額 (千円)	15,812,940	15,983,000	16,012,719
総資産額 (千円)	29,577,391	30,804,122	30,364,566
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	6.78	10.54	13.34
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	50.6	50.2	50.9

回次	第47期 第3四半期 連結会計期間	第48期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日	自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.40	2.22

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、いずれの期間においても潜在株式がないため記載しておりません。
- 4 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった西安榕東活動房有限公司の全出資金を売却したことにより、同社を連結の範囲から除外しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安と原油安を背景に企業収益と雇用環境が改善され、景気は緩やかな回復基調となりました。海外においては、アメリカではゼロ金利政策が解除される一方、期後半より中国をはじめとする新興国経済の減速が顕著となり、景気の不透明感が強まってまいりました。

仮設建物リース業界におきましては、底堅い設備投資の下支えもあり堅調に推移しておりますが、建設業界全体における労働者不足が依然として続き、また、地方自治体の財政難等により学校関連施設の低価格での落札が続いており、予断を許さない状況が続いています。

このような状況におきまして当社グループは、全国生産拠点ネットワークを駆使することにより労働者不足に対応するとともに、より一層のお得意先様満足を獲得できるよう仮設建物の質・量の向上に努めました。また、外注費や経費を圧縮すると同時に、保有する仮設建物の在庫を最大限に駆使することにより原価の圧縮に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,989百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。損益面につきましては、営業利益は419百万円（前年同四半期比0.9%増）、経常利益は386百万円（前年同四半期比2.9%増）、特別利益に連結子会社である西安榕東活動房有限公司の出資金売却に伴う利益54百万円及び固定資産の売却益48百万円などを計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は366百万円（前年同四半期比55.4%増）となりました。

なお、セグメントごとの業績は、日本が売上高9,675百万円（前年同四半期比0.8%増）、中国が361百万円（前年同四半期比21.4%減、セグメント間取引消去後313百万円（前年同四半期比14.9%減））となりました。また、営業損益は日本が437百万円の営業利益（前年同四半期比8.3%減）、中国が22百万円の営業損失（前年同四半期は56百万円の営業損失、セグメント間取引消去後18百万円の営業損失（前年同四半期は61百万円の営業損失））となりました。

(2)財政状態の分析

資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末より439百万円増加し、30,804百万円となりました。理由の主なものはリース用資産の増加235百万円および受取手形及び売掛金の増加209百万円であります。

負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より469百万円増加し、14,821百万円となりました。理由の主なものは長期借入金の増加1,087百万円であります。

純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末より29百万円減少し、15,983百万円となりました。理由の主なものは為替換算調整勘定の減少49百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成28年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	34,943,225	34,943,225	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 1,000株であります。
計	34,943,225	34,943,225		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年10月1日～ 平成27年12月31日		34,943,225		8,032,668		2,828,787

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 164,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 34,565,000	34,565	
単元未満株式	普通株式 214,225		
発行済株式総数	34,943,225		
総株主の議決権		34,565	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には証券保管振替機構名義の株式が5,000株(議決権5個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式770株が含まれております。

3 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成27年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 東海リース株式会社	大阪市北区天神橋 2丁目北2番6号	164,000		164,000	0.47
計		164,000		164,000	0.47

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成27年10月1日から平成27年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,917,875	1,962,562
受取手形及び売掛金	10,825,400	1 11,034,493
電子記録債権	42,248	1 155,889
商品及び製品	144,507	156,152
仕掛品	84,362	68,736
原材料及び貯蔵品	434,276	376,946
繰延税金資産	87,000	87,000
その他	314,475	346,606
貸倒引当金	95,412	76,217
流動資産合計	13,754,733	14,112,168
固定資産		
有形固定資産		
リース用資産（純額）	7,629,732	7,865,393
建物及び構築物（純額）	2,471,610	2,390,829
土地	4,989,891	4,998,254
リース資産（純額）	626,236	566,775
建設仮勘定	-	20,377
その他（純額）	170,405	164,813
有形固定資産合計	15,887,876	16,006,443
無形固定資産	364,100	315,979
投資その他の資産		
投資有価証券	166,649	179,640
その他	188,341	188,547
投資その他の資産合計	354,990	368,187
固定資産合計	16,606,968	16,690,611
繰延資産	2,864	1,342
資産合計	30,364,566	30,804,122

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,924,803	¹ 2,933,428
短期借入金	2,764,390	2,913,746
1年内償還予定の社債	280,000	80,000
リース債務	158,466	159,445
未払法人税等	93,441	54,083
前受リース収益	3,348,739	3,367,370
賞与引当金	263,373	120,305
役員賞与引当金	28,660	11,400
設備関係支払手形	138,783	¹ 316,511
その他	1,269,963	945,135
流動負債合計	11,270,621	10,901,426
固定負債		
社債	160,000	120,000
長期借入金	1,957,661	3,045,401
リース債務	379,549	278,371
繰延税金負債	53,535	61,265
役員退職慰労引当金	176,400	80,004
退職給付に係る負債	354,079	295,451
その他	-	39,200
固定負債合計	3,081,226	3,919,695
負債合計	14,351,847	14,821,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,032,668	8,032,668
資本剰余金	5,637,764	5,637,764
利益剰余金	1,214,334	1,267,807
自己株式	29,826	30,358
株主資本合計	14,854,941	14,907,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,328	57,294
為替換算調整勘定	479,395	429,758
退職給付に係る調整累計額	74,682	54,013
その他の包括利益累計額合計	604,406	541,066
非支配株主持分	553,371	534,051
純資産合計	16,012,719	15,983,000
負債純資産合計	30,364,566	30,804,122

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	9,967,008	9,989,031
売上原価	7,727,158	7,840,815
売上総利益	2,239,850	2,148,215
販売費及び一般管理費	1,824,185	1,729,017
営業利益	415,664	419,198
営業外収益		
受取利息	6,911	17,430
スクラップ売却益	10,047	5,258
受取保険金	11,529	126
その他	21,810	16,766
営業外収益合計	50,299	39,581
営業外費用		
支払利息	56,428	47,827
為替差損	-	2,045
支払手数料	25,318	16,816
その他	8,519	5,602
営業外費用合計	90,265	72,292
経常利益	375,698	386,487
特別利益		
関係会社出資金売却益	-	54,585
投資有価証券売却益	-	3,553
固定資産売却益	-	48,507
特別利益合計	-	106,646
特別損失		
固定資産除却損	53,100	3,304
固定資産売却損	154	-
特別損失合計	53,254	3,304
税金等調整前四半期純利益	322,443	489,830
法人税、住民税及び事業税	76,471	91,279
法人税等調整額	3,589	5,803
法人税等合計	80,061	97,082
四半期純利益	242,382	392,747
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,477	26,258
親会社株主に帰属する四半期純利益	235,905	366,488

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	242,382	392,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,386	7,048
為替換算調整勘定	62,837	54,610
退職給付に係る調整額	20,538	20,668
その他の包括利益合計	93,762	68,229
四半期包括利益	336,144	324,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,102	303,149
非支配株主に係る四半期包括利益	15,041	21,368

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第3四半期連結会計期間(自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

第2四半期連結会計期間において西安裕東活動房有限公司を売却したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 期末日満期手形等の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
受取手形	千円	51,954千円
電子記録債権	千円	6,859千円
支払手形	千円	501,630千円
設備関係支払手形	千円	57,736千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
減価償却費	958,457千円	1,002,911千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	173,931	5	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金
平成26年10月30日 取締役会	普通株式	104,349	3	平成26年9月30日	平成26年12月10日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	173,901	5	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金
平成27年10月30日 取締役会	普通株式	139,113	4	平成27年9月30日	平成27年12月10日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)
	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	9,598,203	368,805	9,967,008		9,967,008
セグメント間の内部売上高 又は振替高		91,193	91,193	91,193	
計	9,598,203	459,998	10,058,202	91,193	9,967,008
セグメント利益又は損失()	476,974	56,413	420,561	4,896	415,664

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)
	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	9,675,317	313,713	9,989,031		9,989,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高		47,711	47,711	47,711	
計	9,675,317	361,425	10,036,743	47,711	9,989,031
セグメント利益又は損失()	437,522	22,664	414,857	4,340	419,198

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	6.78	10.54
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	235,905	366,488
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	235,905	366,488
普通株式の期中平均株式数(株)	34,783,830	34,778,860

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第48期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)中間配当について、平成27年10月30日開催の取締役会において、平成27年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- (1)配当金の総額 139,113千円
- (2)1株当たりの金額 4円
- (3)支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成27年12月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 2月 5日

東海リース株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 幸彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森村 照私 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東海リース株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成27年10月1日から平成27年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東海リース株式会社及び連結子会社の平成27年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。